



# 光 和

11月号  
練馬区立光和小学校  
平成30年10月31日  
校長 城崎 真



## 三代目マーチング 新たな伝統を目指して

二〇十七年度の企業が新入社員の選考にあたって特に重視した資質・能力を日本経団連が発表しました。その結果は、

- 一位コミュニケーション能力
- 二位主体性
- 三位チャレンジ精神
- 四位協調性
- 五位誠実性

これは今後も、子供たちが社会に出ていくにあたり、欠かすことのできない資質・能力と言えます。

学校教育の大きな特長の一つに、集団生活、集団行動があります。子供たちのコミュニケーション能力や協調性を育む場所として、学校は貴重な場所だとも言えます。



マーチングの練習風景

一昨年度より本校では、六年生の運動会の表現を「マーチング」としました。

マーチングに求められる力は、演奏したり、フォーメーションを展開したりすることだけではありません。そうした華やかな形に現れる力ばかりでなく、その裏にある、人とのコミュニケーション能力や協調性も求められます。

協調性と共に、自分に与えられたことを確実に果たさなければなりません。また誰一人として、ごまかしが出来ず、一つの集団として決まりを守る中で一人一人の責任感が養われます。そして、大切なのは結果として形に現れたものではなく、そこに至る練習の過程がとても重要となります。

今回の六年生のマーチングは、「子供たちがつくる」ということがテーマにありました。「大人から与えられたものをこなすのではなく、自分たちのものを自分で作り上げる。」

このことは、六年担任全員が何度も何度も子供たちと確認しました。子供たちの意識も段々と高まり、休み時間の練習も自分たちから積極的に取り組む児童が増えました。

楽器を演奏する子供たちは、同じ楽器の友達とどのような動きで演奏するのか、何度も話し合いを重ねて決め、カラーガード(旗)の子供たちも、きれいに見える方法を二十四人が一生懸命に考えました。また、フォーメーションの一部は、子供たちが中心となって考え、マーチングを仕上げる重要な役割を担いました。

今回、光和小学校としては三回目となるマーチング。演技後の子供たちの瞳は、いつも以上に輝いて見えました。子供たちにとって、今回のマーチングはまぎれもなく汗と努力の結晶でした。「三代続けば末代続く」ということわざがあります。初代、二代に引けを取らない、大成功の三代目マーチングとなったと思います。今後も光和の新たな伝統のマーチングが代々受け継がれ、地域の宝物となっていくことを願っています。

(文責 六年 和田 幸久)

## 四季折々

校長 城崎 真

「道徳授業地区公開講座」

東京都教育委員会が、学校、家庭及び地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として、区市町村教育委員会と連携して、平成十年度から都内公立小・中学校等で開催しています。

今年度光和小では、十一月十日(土)の土曜授業公開日を活用して行います。公開授業は一校時が二、三、五年生、三校時が四、六年生です。そして、間の二校時に今回の目玉と考える講演会を計画しています。

講演会は、前練馬区立光が丘春の風小学校長、新学習指導要領改訂に伴う諮問機関第八期中央教育審議会委員の福田純子先生をお招きして、

『今、教育の転換期へ家庭における心の教育』の演題でお話をして頂きます。私は当日、三原台中学校の周年行事に参加するため残念ながら講演を聴くことはできませんが、私のおすすめの講師です。是非、ご参加ください。当日、空席が目立つということが多いよう、SNSで「一緒に参加しましょう。」と連絡を取り合ってください。場所は、三階『ひかり』教室です。

「運動会のお礼」

十月二十日に行われた第六十四回運動会では、ご協力ありがとうございました。児童の全力を出し切った演技、競技、その他全ての姿をきくと、家庭でもたくさん褒めていただいたことと思います。私も一番いい席から子供たちのがんばる姿、楽しそうな笑顔を見て、感動の連続でした。素敵な子供たちに向けて、感謝です。最後に、手前味噌ですが、この運動会に向けて、教職員もよく頑張っていたことを付け加えさせていただきます。(二〇一八年十一月)